



我になき火の性羨し曼殊沙華
 ウイズコロナ・ウィズハズバンド秋深し
 蕎麦咲いて信濃は月の大きな国
 茶の花のこれが精一杯の白
 好きな字は鳳凰の二字鳳仙花
 シリウスや無限に続く平方根
 獵期来る四方の峰々黒ずみて
 鳥渡る風を乗り換へ乗り継ぎて
 木枯や象の立ち位置変はらざる
 風と生き風が葬る冬の蝶
 山眠る眠らぬものを蔵しては
 月冴えて勾玉なりにはたづみ
 高乾しの漁網炎の色小六月
 少し行くもう少し行く十三夜
 都鳥売られた喧嘩買うてをり

栗原 公子
 千田 百里
 林 昭太郎
 辻 美奈子
 大畑 善昭
 杉本 光祥
 荒井千佐代
 能美昌二郎
 高木 嘉久
 峰崎 成規
 菊川 俊朗
 岡部 玄治
 甲州 千草
 村上 葉子
 小林 陽子

決心とは迫らるるもの鉦叩
 鶏小屋に万羽の寢息十三夜
 白もまた強き色なり帰り花
 鶏頭の満願のごと種とばす
 百合鷗白には染まぬ自由あり
 風のグリッサンド柿紅葉終章
 数へ日の底まで探す工具箱
 地図帳に数多の記号鳥渡る
 人肌のブーツがやはらかに倒る
 先生のインクは丸善茶立虫
 窓辺より埋まる図書館小鳥来る
 黄落のひとひらづつに羽生まれ
 身ほとりのものの錆びゆく秋の夜
 綿虫のこんなに群れてゐて静か
 銀杏散る日輪少しづつ奪ひ

川高郷之助
 中村 重幸
 大森 春子
 富川 明子
 荒井千瑳子
 平松うさぎ
 広海あぐり
 本池美佐子
 兵藤 恵
 栗坪 和子
 朝長美智子
 浜田はるみ
 里村 梨邨
 坂下 成紘
 枇杷木 愛

